



とよかわの

みつけた!



どこか懐かしい日本一古い現役郵便ポスト

豊川稲荷の境内にある立願所（御祈禱申込所）の前に日本一古いといわれる郵便ポストがちょこんと立っています。明治45年製のこのポストは97歳で、今でも現役でがんばっています。

日本で郵便事業が開始されたのは明治4年、当初の郵便ポストは白木造りでした。郵便ポストが赤く塗られたのは明治34年で、東京日本橋に誕生した円筒形の鉄製ポストはモダンな作品として話題を呼んだようです。

豊川稲荷に残るポストは、差入口に雨よけのひさしをつけた「丸型ひさし付ポスト」と呼ばれるもので、昭和26年に新タイプが制定されるまで全国で長く使われていました。戦時中にも供出されずに現在までこうして残っているのは豊川稲荷の私設置ポストだったからです。

頑丈そうな造り、何重にも塗られたペンキの跡、ジッと近くで見ると「郵便」の文字も右読みになっています。

どこか懐かしい感じの日本一古いといわれる郵便ポストがあることを知らない方も多いのではないのでしょうか。

この機会に、あなたも明治の時代に思いをはせながら、手紙を出してみませんか。

この郵便ポストは、豊川稲荷（豊川町1）で見ることができます。

